

仁義なき戦いは続く・・・

毎年我々を悩ませる、芝生の難防除雑草・スズメノカタビラ。以前も一度特集していますが(平成22年3月号)、ここでもう一度おさらいしておきたいと思います。



スズメノカタビラは芝と同じイネ科(ケンタッキーブルーグラスと同じイチゴツナギ属)に属しているため、芝草とよく似ており、区別が難しい時期もあります。草丈が低く、地面を這うように生育するため、刈り取りを逃れることも多く、踏みつけにも強いといったしぶとい性質を持っています。本来は一年生ですが、環境に応じて様々な生育形態をとり、多年草の場合もあります。また、株立型とほふく型といった違いもあります。

防除にあたっては、スズメノカタビラの生育特徴をよく理解して、生育しにくい環境をつくっていくことが重要です(下図)。

※個体によって様々な形態をとるため、必ずしもこの特徴のすべてに該当するとは限りません

～スズメノカタビラの生育形態～

一年生タイプ	特徴	多年生タイプ
株立型	草型	ほふく型
少ない	分けつ	多い
多い	出穂数	少ない
あり	種子休眠	なし
春～初夏	開花時期	周年
乾燥～湿潤	生育条件	湿潤
5～20℃	発芽適温	10～30℃

参考：「緑の安全管理士」テキスト

～スズメノカタビラの生育特徴と防除対策～

生育特徴	防除対策
生育条件が整えば、一年中いつでも発生する	<ul style="list-style-type: none"> ●春秋の発芽前の土壌処理剤で発生を抑える ●処理層を安定させるためにサッチの集積を防ぐ
光が当たる事で発芽が促進される	<ul style="list-style-type: none"> ●芝を高刈りにする
施肥により発芽が促進される	<ul style="list-style-type: none"> ●発芽前の土壌処理剤散布の後に施肥を行う ●施肥後、発芽したところで除草剤を散布する
土壌中に窒素が多いと優占が促進される	<ul style="list-style-type: none"> ●低温時(7～13℃)の窒素多用は避ける
土壌中にリン酸が多いと出穂形成が促進される	<ul style="list-style-type: none"> ●春先のリン酸施肥は控える
酸性土壌を好む	<ul style="list-style-type: none"> ●土壌が酸性に偏り過ぎないようにする
耐湿性が高く、水はけが悪い箇所で優占する	<ul style="list-style-type: none"> ●土壌の排水性を改善する

製品紹介

バイザー水和剤

一年生雑草に長期間の効果



- 有効成分：ジチオピル 40.0%
- 毒性：普通物
- 魚毒性：B類
- 原体メーカー：ダウ
- 包装：250g/袋、10袋入り/ケース

- 広範囲の一年生雑草に対し高い除草効果を示す土壌処理剤です。
- 残効性が極めて長く、春期処理で120日以上、秋期処理で180日以上抑草します。
- 日本芝・西洋芝どちらにも使用できます。
- 発芽後の雑草には効果が劣ります。但しメヒシバには出芽直後にも活性を示します。
- ヤハズソウ、イヌタデ、オランダミナグサ、オオイヌフグリ、ナズナなどにも効果があります。

▶ジチオピルを含む農薬の総使用回数は2回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前(芝生育期)	50~100g	200~300L
	一年生雑草	秋期雑草発生前(芝生育期)	100~200g	
西洋芝(ケンタッキーブルーグラス)	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前(芝生育期)	50~100g	
	一年生雑草	秋期雑草発生前(芝生育期)		
西洋芝(ライグラス)	一年生イネ科雑草	春期雑草発生前(芝生育期)		

レンザー

スズメノカタビラ等の越冬性雑草に効果



- メヒシバ、スズメノテッポウなどの一年生イネ科雑草やナズナ、ハコベなどの一年生広葉雑草に対し、発生前の散布で高い効果を示します。
- スズメノカタビラに対しては、すでに発生しているものにも効果があります。

- 有効成分：レナシル 80.0%
- 毒性：普通物
- 魚毒性：A類
- 原体メーカー：デュボン
- 包装：100g/袋、60袋入り/ケース
1kg/袋、10袋入り/ケース

▶洋芝に対して薬害を生ずるおそれがあるため、使用しないでください。
▶レナシルを含む農薬の総使用回数は2回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝(コウライシバ)	スズメノカタビラ等 冬生畑地一年生雑草	秋期雑草発生前	200~250g	250~300L

アーザラン液剤

イネ科から広葉雑草まで、幅広い効果



- 有効成分：アシユラム 37.0%
- 毒性：普通物
- 魚毒性：A類
- 原体メーカー：バイエル
- 包装：1L/本、12本入り/ケース

- 発生前から生育初期の処理により、メヒシバ、スズメノカタビラをはじめ、キク科・タデ科雑草などに優れた効果を示します。
- 植物や土壌中に浸透し、比較的速やかに分解されるので、土壌や水系への影響が少なく、また、日本芝の生育期に使用できます。

▶雑草の発生程度により、許容薬量内で使用量を増減してください。
▶ヒユ科、アカザ科、カヤツリグサ科に対しては効果が劣ります。
▶遅効性で効果発現まで時間を要します。
▶アシユラムを含む農薬の総使用回数は3回以内です。

作物名	適用雑草名	使用時期	薬量/10a	希釈水量/10a
日本芝	畑地一年生雑草	秋~春期(芝発芽前)	1000~1250ml	200~300L
		芝生育期(雑草生育初期)	400~600ml	

取扱い・お問合せは—



緑を育み、未来へつなぐ

株式会社 サカイグリーン

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地
TEL:076-434-0036 FAX:076-434-4968